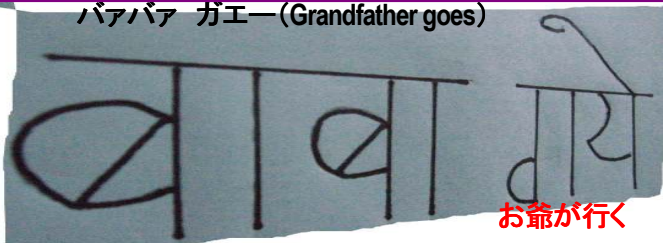


バアバア ガエー (Grandfather goes)



お爺が行く



書画作成

Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2009年12月07日 発行 第27号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

### ◎◎ 金曜日は妊婦・衛生教育日 ◎◎

今日は暖かいので妊婦学校にも多くの人に参加しました。それから、頭シラミ検査もなんと39人の子供が来ました。薬は無料配布です。身なりはやはり貧しい家庭のように思われます。

女の子の服も後のチャックが壊れています。下着もなく、寒いだろうと思います。

この日は新しい妊婦さんはいませんでした。いろいろスーマンさんが指導していました。早く、スライドが届くと良いな思います。

この日も公立学校に行きました。「手洗い、うがい」ポスターを貼るよう先生に依頼しました。本当に州政府からポスター等の配布はないようですね。

スーマンさんがポスターを活用して指導してくれました。上の写真がその時のものです。口と絵で見て貰うことは良いことかなと感じます。

ポスターもインド政府とJICAが作ったこと、下のうがいの絵はBabaが作ったと説明しました。インド政府が作ったことに関心があるようでした。



この学校にもどうも先生の子供を連れてきているようです。それも「生徒」ではなさそうですね。最初は生徒が先生にまわりついてきているかと思いましたが、服が綺麗だし、生徒ではなく、先生の子供でした。左の写真が先生+子供の写真です。こうした子連れれの先生が結構いました。赤ちゃんを連れていた先生もいました。



親と同居ではなく、保育園もないのでしょうか。

### ◎◎ インドの店先 ◎◎

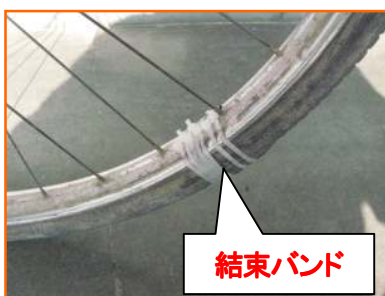
最近は何れも慣れました。何に慣れたかという、「物を投げる」事にです。何を投げるかと言うと、お客に対して品物は投げるわ、おつりを投げて返す等です。

さすがにデリーのような大都会の大きな店ではこんな事はありません。小さな店で見かけます。もちろんお客もお金を投げて、物を買っています。最初は外人だから無礼な所作かと思いましたが、そうではなく「習慣」なのですね。

1m先から品物を投げて「これで\* \*Rs」と言われてもね——。慣れていない日本人は「ムッ」とするでしょうね。店番をする小さな子供も同じですから、この習慣を直すのは並大抵のことではありません。

投げると言えば、食べたあとの袋、箱何でもかんでも「道路がゴミ箱」ですから何ともなりませんね。日本はちょっと清潔に対して病的なほど過敏症なのかと思ってしまいます。田舎で「530運動」に参加している私としては、13億人が「ゴミ箱」に捨てていることに無力感を持ちますね。

### ◎◎ ゴム製品の品質 ◎◎



結束バンド

先日自転車のパンク修理を手伝いました。インドのゴムは「硬い」ですね。はめ込むのに手こずりました。インドのゴム品質は改良の余地があります。

日本のゴムは「柔らかい!!」。新品のタイヤなのにもう破裂寸前なので日本製の「結束バンド」で締め付けています。虫チューブも直ぐダメになります。

道路でタイヤ交換する風景もよく目にします。道路、ゴム品質も悪くこんな所も日本の技術協力が望まれますね。でも値段が上がると買えない悩みが……。



◎ 追伸 ◎ 「ヒンディ語の50音」で指摘を頂きました。「日本語の起源」の本があるそうです。一読を……。